



東北・北陸地方の豪雨災害に

見舞われた皆さまへ



8月3日～4日にかけて、東北・北陸地方では警戒レベル5の避難情報「緊急安全確保」や「避難指示」が出されるなど、地域によっては人命に関わる「警報級」の大雨が降り続けました。河川の氾濫による家屋の床上・床下浸水をはじめ、被災した皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

また今回の豪雨災害では、磐越西線、米坂線、奥羽本線、花輪線などで鉄橋の流出、土砂流入などによる甚大な被害が報告されています。2011年に発生した「新潟・福島豪雨」では只見線が長期間にわたり不通となり、復旧作業が終わりようやく今年10月に全線開通を控えたこの時期に、再び地方の鉄道網が豪雨災害によって長期にわたり寸断されてしまうことは、地方における鉄道ネットワークの根幹に関わる大きな問題として受け止めなければなりません。

復旧作業に従事するJR東日本・グループ会社の皆さん！連日、各地では猛暑が続いています。「健康」と「安全」を最優先にして作業にあたりましょう。

そしてJTSUは、今回の豪雨災害による組合員・ご家族の方々や鉄道の被災状況の把握に努めるとともに、一日も早い鉄道ネットワークの復旧に向けて関係者・関係機関と連携して取り組んでいきます。

